

一般社団法人日本女性航空協会

*Japan
Women's
Aviation
Association*

693 | 2019
Spring



空のワルツ

空を愛する女性のネットワーク
<http://www.jwaa.or.jp/>

航空業界を目指す女性たちへ

第四回女性航空教室 Yes I Can!

飛行神社を訪ねて

～京都八幡市散策～

第四回 女性航空教室 Yes I Can!

「航空業界に進みたい！」高校生・大学生が一堂に集う女性限定教室開催

女性のみが対象の「女性航空教室」Yes I can! は今年で4回目。当協会が主導して2018年12月16日に開催されました。今回は文部科学省も後援いただき、全国の大学、高校への案内により、申込者が100名を突破するといううれしい悲鳴で幕を開けました。朝10時から午後5時まで丸1日かけた中身の濃いプログラムを通し、仕事のイメージをつかみ、強い志を持ってこの業界に進んでもらいたいというのが狙いです。また、今回は詳細なアンケートを実施し、夢を描く若者に航空業界はどう働きかけていくべきかを考えるきっかけにもしたいと考えています。

講師はエアラインのパイロット、整備士、航空機製造技術者、そして海上保安庁のヘリコプター・パイロットと整備士を加えて全8名の最前線で活躍する女性たち。プレゼンテーションとグループディスカッションを精力的にこなしていただきました。

レポート：浦松 香津子
写真：堀川 典子



全国から集まった若い女性で会場はいっぱい

会場は東京・新橋の航空会館。主催団体が航空各社に精力的に声をかけ、多くの会社から航空グッズ、パンフレットを提供いただき、参加者に提供しました。アンケートでもグッズが良かったとの声が多く寄せられました。加えて(株) AIRDO さんのキャラクター・ベアドウがサプライズ参加で人気者に！ご協力いただき各社に御礼申し上げます。

申込者104名に対し出席者は63名で少々減った

のは、多忙な師走の時期に開催したことにあるのかと考えますが、参加者の構成は、大学生6割、高校生2割、その他専門学校生、社会人そして13歳の中学生も1名いらっしゃいました。また、ほとんどが東京及び関東近郊からですが、中部から6名、北海道、近畿、九州からも参加いただき、その動機は学校からの紹介が多く、文部科学省の後援をいただいたことで、安心して学生さんが参加していただけたのかもしれない。

ユーモア交えた現場の貴重な話に出席者は釘付け！

主催者側のあいさつ、オリエンテーションの後、まずは航空機整備士の AIRDO の別府由香里さん、ソラシドエアの榎原美咲さんが会社のカバーオール姿で登場。会社の事業内容、仕事内容、志望動機や就職過程などを持ち時間 20 分で歯切れよく語ってくれ、みんな一言も聞き漏らさないよう真剣に聞いています。



エアドゥ
別府由香里さん

今回整備士志望という明確な参加動機をもつ方も多く、専門学校ですでに整備士への道を歩き始めている学生もいます。別府さんが専門学校ですごく勉強したという話や榎原さんが、大学工学部に入学したものの、やりたいことではないときっぱりやめて専門学校に入りなおしたという経緯を教えてくださいました。二人とも本当に飛行機が好き、飛行機の近くで働けて幸せという気持ちがあふれるプレゼンテーションでした。



ソラシドエア
榎原美咲さん

続いて三菱重工業の堀江英理子さん、JAXA の徳川直子さんが、あまり知られていない製造技術分野の仕事内容や経験を語ってくださいました。B787の主翼設計の話や JAXA の仕事など一般には伝わってこない話は、「知らなかったけどいい話が聞けた」という声がアンケートで寄せられました。二人とも出産、育児休暇、子育てを経験しながら現在は管理職として一線で活躍をつづけた方々です。女性教官ならではの話題はその後のディスカッションへとつながっていきました。



三菱重工業
堀江英理子さん



JAXA
徳川直子さん

「パイロットは女性向き！」制服姿の若き女性パイロットが太鼓判

講師の方々が持ち時間をフルに熱弁をふるっていただき押し気味のプログラムでしたが、午前の部の最後はいよいよエアラインパイロットの登場となりました。過去の 4 回は ANA 系、JAL 系の方々でしたが今回は LCC からの参加で、ピーチアビエーショ

ンの千房まりさん、ジェットスター・ジャパンの長瀬矢江子さんが制服姿でかっこよく決めてくれます。会場も大盛り上がりとなりました。二人はくしくも桜美林大学の航空操縦学専攻卒業、入社4～5年目の若い副操縦士さんたちです。



ピーチアビエーション
千房まりさん

二人ともパイロットは女性に最適の職業と自信をもって提案します。女性が得意と言われるマルチタスク能力を活かせ、専門職なので育児休暇などライフイベントへも対応してくれる等々。また、LCCならではの職場の明るい雰囲気などユーモアを交えながら楽しいお話を披露してくださいました。

アンケートでは大学生から自社養成や航空大学校の話も聞きたいという意見もあり、今後の選択に直結させたい学生さんの真剣さを感じました。



採用されているカンタス航空の安全基準を採用
ジェットスター
長瀬矢江子さん

「海保の仕事って知らなかった！」と興味津々

午後からは海上保安庁のヘリコプター・パイロットの福田由香里さんと整備士の吉村美奈子さんです。パイロットになりたくて海保にチャレンジした福田さんは6年前に機長に。多くの機種種の資格を持つ整備士・吉村さんは高校生の時経験した中越地震の報道でヘリコプターが救助している映像を見て進

路を決意とのこと。迷いのない二人の行動力と明るく楽しい話に会場が大いに沸きました。



海上保安庁
福田由香理さん



海上保安庁
吉村美奈子さん

グループディスカッションで仕事と私生活の核心に迫る

20名程度のグループになって、講師との突っ込んだ話し合いができるグループディスカッション。プレゼンで紹介された話で興味を持ったこと、詳しく聞きたいこと、仕事上の苦勞や悩みなどで、最初は恥ずかしがりやの女子学生たちも次第に熱を帯びてきました。各講師は次々にそして繰り返し輪の中に入って、様々な質問に答えたり、逆に出席者に質問したりして、みんなの口を開かせてくれました。妊娠、出産、子育てなど女性特有の課題もここでは話題の大きな柱となっています。志望ははっきりしているのに、そのようなナマの話を聞きたかったという出席者も多かったようです。グループディス

カッションは2時間に及び、講師も笑みを絶やさずディスカッションを繰り返してくれました。終わった時には講師も出席者もかなり疲れただろうと想像しますが、最後は笑顔の写真撮影で教室は終了しました。

アンケートからわかる女子学生の思い

アンケートでは年齢や住所などのほかに興味ある職種は何か、女性限定であることをどう思うか、今後どのようなイベントを望むか、感想は？などをお聞きしました。回答数は途中退出の方を除いて58名、皆さん熱心に記載いただき、分析していて胸が熱くなるような内容のものもありました。

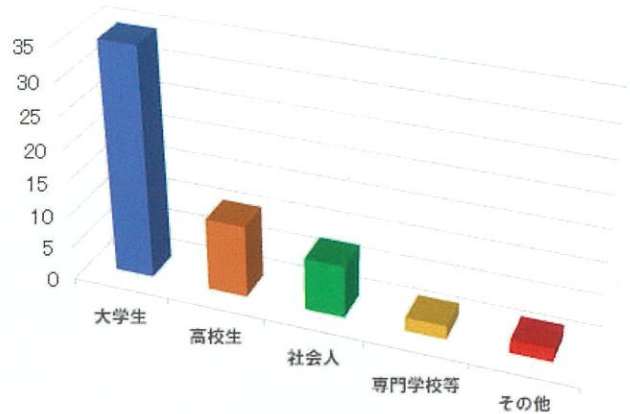
「女性限定教室である必要はあるのか」という今教室の根本的な問いかけに、女性限定がいいという意見と女性限定でなくてもいいという意見がちょうど半分という結果に。但し、感想では女性限定だから聞きづらいことも聞けて良かったという声が多く寄せられました。男性も一緒にのほうがいいという意見は3名だけで、やはり女性限定ということで出席しやすいと考えられます。

高校生や大学生から様々な感想をいただきましたので一部紹介しましょう。

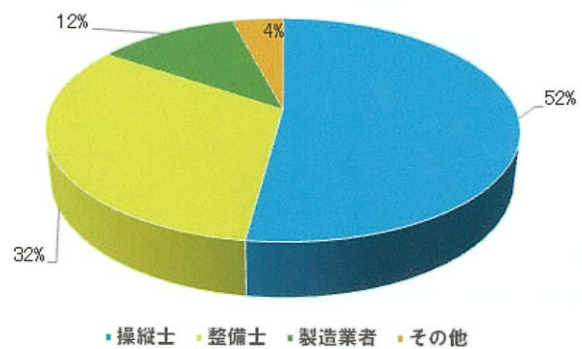
- ・実際に仕事をされている方にお話を聞いたことでイメージが湧き、どのようにしたら目標を達成できるのかと考えられるようになりました。(高校生)
- ・ちゃんとした職業としてあまり調べたりしたことがなかったので、とても為になりました。その職業について想像もしやすくなりました。(高校2年)

- ・改めて飛行機1機を飛ばすのにも様々な方の力や思いがギュッと詰まっていることを実感いたしました。(大学3年)
- ・自分自身が航空業界に携わり、また一女性として輝いていくためのコツがわかりました。(大学2年)
- ・何でも気軽に聞くことができとてもよかった。産休や生理で・・・など女性だけの空間で安心できた。濃い話ができた。(大学3年)

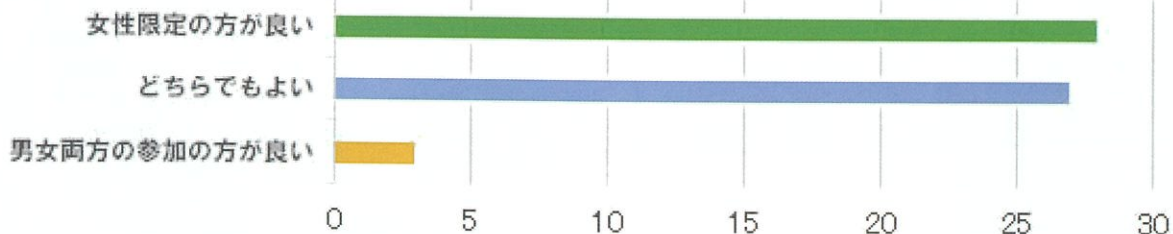
出席者所属



興味ある職種は？複数回答あり



女性限定参加をどう思いますか？



ざっくばらんな話ができるグループディスカッション



講師に聞く「航空業界で女性が活躍するために必要なことは何？」

まず、多くの講師が共通して挙げたことが男性の理解、そして福利厚生などの環境整備。現場からの課題提起であり、まだ改善する余地があると思われます。また、「労働人口が減る中、女性も積極的に受け入れなければならない現実を早く認めて教育等を進めること（福田由香里さん）」という意見や「パイロットという職業が女性でもできるということを知ってもらうことが大切（長瀧矢江子さん）」。今回の教室のように皆さんに知って頂ける機会があるとよいなど嬉しいエールもいただきました。

出席者の質問で印象に残ったことは？という質問には、「文系でも技術職や研究職になれるのか？」「産休、育休について」「男女差はあるか？」など女性ならではの知りたい

ことが聞ける場となったようです。また、「どんな人と仕事がしたいですか？」と聞かれ、改めて自分がこうなろうと思えるきっかけになった（榎原美咲さん）とのことで講師にも大いに刺激のある機会となったようです。

優秀な人材を航空業界に導くことを期待するこの教室のプログラムは例年続けていく必要があると強く思うところです。



講師のみなさんで記念撮影



昼休みにベアドゥ登場！



真剣なまなざしの受講生



主催者等一覧

主催： 一般社団法人日本女性航空協会
 一般社団法人日本航空宇宙工業会
 公益社団法人日本航空技術協会
 公益社団法人日本航空機操縦士協会
 一般社団法人全日本航空事業連合会

後援： 国土交通省航空局
 経済産業省製造産業局
 文部科学省研究開発局
 協力： 一般財団法人日本航空協会